

教育目標	集計用紙	とてもそう思う		そう思う		そう思わない		全くそう思わない	
		1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
1 人間を身体的・精神的・社会的側面から理解し、対象者を生活する人として理解する基礎的能力を学ぶことができる	1) 人間が身体的・精神的・社会的に機能する存在である基本的な視点がわかる		10		90		0		0
	2) 看護の対象である生活者としての人間を理解することができる		20		80		0		0
	3) 援助を通して対象の健康レベルがわかる		30		70		0		0
2 人々とよりよい人間関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力、技術を身に付けることができる	1) 多様な価値観を受け止め、良好なコミュニケーションをとることができる		20		70		10		0
	2) 他者に自らの考えや意見を正確・適切に伝達できる		10		70		20		0
	3) 他者の意見や指導を受け止め、自分の成長に活かすことができる		30		60		10		0
3 医師、歯科医師、または看護師の指示のもとに療養の世話や診療の補助技術を、対象者の安楽を配慮し、安全に実施することができる基礎的能力を身に付けることができる	1) 原理原則に基づいた基礎的看護技術を修得できる		10		90		0		0
	2) 対象の状態や変化を観察し報告することができる		10		80		10		0
	3) 対象の個性性に配慮した援助ができる		90		10		0		0
	4) 日常生活援助が安全にできる		0		90		10		0
4 疾病を持った人々と家族のさまざまな考え方や人格を尊重し、倫理に基づいた看護実践できる基礎的能力を養う	1) 対象とその家族に関心を持ち、思いやりのある行動がとれる		10		80		10		0
	2) 倫理に基づいた看護援助ができる		0		100		0		0
	3) 准看護学生としての責任を自覚し、行動できる		10		80		10		0
5 保健・医療・福祉チームにおける各職種の役割を理解し、チームの一員としての准看護師の役割を果たす基礎的能力を身に付けることができる	1) さまざまな社会資源や職種について理解できる		30		70		0		0
	2) 多職種との連携の必要性が理解できる		20		80		0		0
	3) 保健・医療・福祉チームの一員としての、准看護師の役割が理解できる		30		70		0		0
6 継続的に自らの能力を維持・向上するべく自主的に学習に取り組む姿勢を身に付けることができる	1) 学習課題に積極的に取り組むことができる		0		90		10		0
	2) 授業や実習において疑問や探求心をもち、主体的に取り組むことができる		20		70		10		0
総評 ・生徒の集計結果から、教育目標4と6の結果の達成度が低いことがわかった。目標4は実習場面での患者、家族の関わりの中で、自分だけではなく看護師や教員を通し、個人を尊重する場面を学び取っていく機会も増やしていく。 ・目標6では、与えられた課題だけではなく自ら成長していけるように学習することの大切さを訴え続けていく。 ・今回は2年次のみしか行うことができなかったため比較ができなかった。次年度は1年次も行い、今後の参考にしていく。									